

## 進捗状況の概要

### 【事業実施体制の整備】

- ・COC+大学である三重大学では、学則の第1条（目的）に「地域に貢献する」という趣旨を加えて謳うという改正に始まり、COC+の事業推進母体であり事務局機能を持たせた全学組織、「三重大学地域創発センター」（以下「地域創発センター」と言う。）を設置した。
- ・平成27年11月1日付けで設置した地域創発センターの諸規則等の整備とともに、同日付けで地域活性化推進コーディネーター1名、非常勤の事務補佐員2名を採用した。
- ・事業内容等を検討・審議する地域創発センター運営委員会の委員を選定し、第1回運営委員会を平成27年12月2日に開催し、年度内に7回開催した。
- ・事業協働機関相互の連携体制としての「COC+事業推進会議」及び「教育プログラム開発委員会」を設置し、平成27年11月11日の全体会議で構成員を決定した。また、教育プログラム開発委員会の下に3つの分科会を置くこととした。
- ・平成28年1月1日付けで地域創発センター特任教員1名及び県内5地域に配置する地域活性化推進コーディネーター5名を採用した。
- ・地域活性化推進コーディネーターとともに本事業推進の中心となる地域創発センター専任教員の公募・採用手続きを平成27年度中に行った。

### 【事業概要】

#### <教育プログラム>

- ・「三重創生ファンタジスタ」をCOC+大学及び全てのCOC+参加校から輩出するため、先ず三重大学において「三重創生ファンタジスタ」資格認定副専攻コースについて検討した。
- ・平成28年度以降の入学者を対象とし、「地域志向科目群」、「地域実践交流科目群」、「地域イノベーション学科目群」の3つのステージから12単位以上の修得を必須条件とした。
- ・平成27年度では、地域志向科目について地域創発センター運営委員会で検討し、教養教育機構及び各学部等で開講する科目を決定した。
- ・全学必修科目の「スタートアップセミナー」を地域志向科目に位置づけ、アクティブラーニング科目である同科目で扱う地域課題のビデオ教材5本を平成27年度に制作した。

#### <会議、シンポジウム等>

- ・平成27年11月11日に全ての事業協働機関（県内13高等教育機関、三重県、20の企業・企業連合体）による全体会議を開催し、「地域イノベーションを推進する三重創生ファンタジスタの養成」事業の趣旨・目的及び概要の確認、事業協働機関における役割の共通認識、協定書の締結、地域創発センター設置等の進捗状況の報告及び事業計画（案）、COC+事業推進会議、教育プログラム開発委員会の構成員等についての審議を行った。
- ・地域創発センター運営委員会と地域活性化推進コーディネーター会議を開催し、事業内容の検討や、事業協働機関と連携して平成28年度事業計画を立案した。地域活性化推進コーディネーターは、高等教育機関等との意見交換の他、事業やCOC+キックオフシンポジウムの周知活動を実施した。
- ・平成28年1月23日午前にCOC+事業推進会議及び教育プログラム開発委員会合同会議を開催し、COC+地域活性化推進コーディネーターの紹介、「三重創生ファンタジスタ」資格認定副専攻コースの計画（案）、皇學館大学によるCOC事業の紹介、平成28年度事業実施計画（案）、内部評価委員会及び外部評価委員会設置等に関する報告及び審議を行った。
- ・平成28年1月23日午後、COC+キックオフシンポジウムを開催し、事業の趣旨・目的及び概要の説明、前明治大学長納谷廣美氏による基調講演、鈴鹿市長、南伊勢町長、企業代表、現役学生及びOBによるパネルディスカッションが行われ、県内外から当初の予定を大きく上回る275名の参加者が得られ、地方創生に係る関心の高さが伺えた。